

17: HLA と移植成績

1. WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 諫田 淳也	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
熱田 由子	日本造血細胞移植データセンター	
池亀 和博	兵庫医科大学病院	血液内科
一戸 辰夫	広島大学病院	血液内科
宇都宮 與	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	血液内科
小川 淳	新潟県立がんセンター新潟病院	小児科
鬼塚 真仁	東海大学医学部付属病院	血液腫瘍内科
加藤 俊一	東海大学医学部付属病院	小児科・細胞移植再生医療科
川瀬 孝和	広島大学病院	血液内科
神田 善伸	自治医科大学附属病院・附属さいたま医療センター	血液科
金 成元	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
鋤塚 八千代	名古屋大学医学部附属病院	先端医療・臨床研究支援センター
小林 武	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
高塚 祥芝	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	血液内科
高橋 義行	名古屋大学大学院	医学系研究科成長発達医学
田中 淳司	東京女子医科大学病院	血液内科
玉置 広哉	兵庫医科大学病院	血液内科
辻 正徳	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
西田 徹也	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
前田 嘉信	岡山大学病院	血液・腫瘍内科
増子 正義	新潟大学医歯学総合病院	高密度無菌治療部・血液内科
松野 良介	昭和大学藤が丘病院	小児科
村田 誠	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
森島 聡子	藤田保健衛生大学病院	造血細胞移植チーム
森島 泰雄	愛知県がんセンター研究所	疫学・予防部
横山 寿行	独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター	血液内科
和氣 敦	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院分院	血液内科
渡邊 修大	社会保険中京病院	小児科
芦田 隆司	近畿大学医学部附属病院	血液・膠原病内科
高梨 美乃子	日本赤十字社	血液事業本部
星野 匠臣	群馬大学医学部附属病院	血液内科
屋部 登志雄	日本赤十字社 関東甲信越ブロック血液センター	検査部検査開発課
坂本 佳奈	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
藤 重夫	国立がん研究センター中央病院	造血幹細胞移植科

宮村 耕一	名古屋第一赤十字病院	血液内科
有馬 靖佳	(公財)田附興風会 医学研究所 北野病院	血液内科
近藤 英生	岡山大学病院	総合内科
吉満 誠	鹿児島大学病院	血液・膠原病内科
河村 浩二	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科

2. 承認研究の進捗状況(2015年1月-12月 ※JSHCT2016を含む)

17-1	「GVHDが生じるとGVL効果があるのは事実か?:血縁、非血縁ドナーからの造血幹細胞移植におけるHLA座適合度別解析」PI:森島泰雄
学会発表:済(WG研究業績一覧参照) 論文業績:	
17-2	「アジア・太平洋地区におけるHLAを基盤にした人種別同種移植免疫反応の比較解析」PI:森島泰雄
学会発表: 論文業績:	
17-3	「非血縁者間骨髄移植における年代別のアレル不適合の影響」PI:神田善伸
学会発表:済(WG研究業績一覧参照) 論文業績:済(WG研究業績一覧参照)	
17-4	「非血縁者間臍帯血移植(UCBT)におけるHLA不一致度と感染症発症頻度」PI:横山寿行
学会発表:済(WG研究業績一覧参照) 論文業績:	
17-5	「非血縁者間骨髄移植(UBMT)におけるHLA抗原(血清型)不一致移植成績」PI:熱田由子
学会発表:済(WG研究業績一覧参照) 論文業績:	
17-6	「Reduced intensity conditioning を用いた非血縁者間骨髄移植におけるHLA不一致の影響」PI:横山寿行
学会発表:済(WG研究業績一覧参照) 論文業績:	
17-7	「HLA適合血縁者間移植とHLA適合非血縁者間移植におけるHLAハプロタイプ、HLA型に基づく移植免疫反応の解析」PI:森島聡子
学会発表:済(WG研究業績一覧参照) 論文業績:	
17-8	「KIRリガンド不適合が移植成績に及ぼす影響の検討」PI:田中淳司
学会発表:済(WG研究業績一覧参照) 論文業績:済(WG研究業績一覧参照)	
17-9	「造血幹細胞移植におけるHLA型・HLAハプロタイプ型と感染症発症頻度」PI:川瀬孝和
学会発表: 論文業績:	
17-10	「複数回造血細胞移植実施時におけるHLA適合性の検討」PI:前田嘉信
学会発表: 論文業績:	
17-11	「T細胞除去を用いないHLA不一致親子間移植においてレシピエントとドナーとの血縁関係が移植成績に与える影響の検討」PI:一戸辰夫
学会発表:済(WG研究業績一覧参照) 論文業績:	
17-12	「非血縁者間臍帯血移植におけるHLA不適合度と移植成績」PI:熱田由子
学会発表:済(WG研究業績一覧参照) 論文業績:済(WG研究業績一覧参照)	
17-13	「非血縁者間臍帯血移植におけるGVH方向HLA不適合あるいはHVG方向HLA不適合が移植成績に及ぼす影響」PI:諫田淳也
学会発表:済(WG研究業績一覧参照) 論文業績:済(WG研究業績一覧参照)	
17-14	「非血縁者間骨髄移植における年代別の高リスクアレル不適合の影響」PI:神田善伸
学会発表:済(WG研究業績一覧参照) 論文業績:済(WG研究業績一覧参照)	

17-15	「第一寛解期急性白血病に対する同種移植における、ドナー選択に関する臨床決断分析—GVH方向HLA—抗原不適合血縁者とHLA8/8アリル適合非血縁者の比較」 PI: 諫田淳也
学会発表: 済(WG研究業績一覧参照) 論文業績: 済(WG研究業績一覧参照)	
17-16	「HLA血清型6/6適合の血縁同胞とその他血縁者間移植の比較」 PI: 藤重夫
学会発表: 済(WG研究業績一覧参照) 論文業績: 済(WG研究業績一覧参照)	
17-17	「臨床決断分析を用いたAML第1寛解期におけるUBMTとUCBTの比較」 PI: 神田善伸
学会発表: 済(WG研究業績一覧参照)	
論文業績: Yanada M, Kanda J, Ohtake S, Fukuda T, Sakamaki H, Miyamura K, Miyawaki S, Uchida N, Maeda T, Nagamura-Inoue T, Asou N, Morishima Y, Atsuta Y, Miyazaki Y, Kimura F, Kobayashi Y, Takami A, Naoe T, Kanda Y. Unrelated bone marrow transplantation or immediate umbilical cord blood transplantation for patients with acute myeloid leukemia in first complete remission. Eur J Haematol. 2015 Dec 18. [Epub ahead of print]	
17-18	「臨床決断分析を用いたALL第1寛解期におけるUBMTとUCBTの比較」 PI: 坂本佳奈
学会発表: 論文業績:	
17-19	「骨髄・末梢血幹細胞移植におけるGVH方向HLA不適合あるいはHVG方向HLA不適合が移植成績に及ぼす影響」 PI: 諫田淳也
学会発表: 済(WG研究業績一覧参照) 論文業績: 済(WG研究業績一覧参照)	
17-20	「血縁者間同種移植における1抗原型不適合と1allele型不適合の比較」 PI: 藤重夫
学会発表: 済(WG研究業績一覧参照)	
論文業績: Fuji S, Kanda J, Kato S, Ikegame K, Morishima S, Miyamoto T, Hidaka M, Kubo K, Miyamura K, Tsudo M, Kobayashi H, Maesako Y, Eto T, Adachi S, Ichinohe T, Atsuta Y, Kanda Y; HLA Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. A single high-resolution HLA mismatch has a similar adverse impact on the outcome of related hematopoietic stem cell transplantation as a single low-resolution HLA mismatch. Am J Hematol. 2015 Jul;90(7):618-23.	
17-21	「レシピエントHLA-Cが、ドナーCTLとNK細胞にとって、一致であるか不一致であるかの違いが、同種移植成績に及ぼしている影響」 PI: 有馬靖佳
学会発表: 済(WG研究業績一覧参照)	
論文業績: Arima N, Nakamura F, Yabe T, Tanaka J, Fuji S, Ohashi K, Fukuda T, Miyamura K, Iwato K, Eto T, Mori T, Kobayashi N, Hoshino T, Kato C, Kanamori H, Nakamae H, Atsuta Y, Morishima Y, Kanda Y. Influence of Differently Licensed KIR2DL1-Positive Natural Killer Cells in Transplant Recipients with Acute Leukemia: A Japanese National Registry Study. Biol Blood Marrow Transplant. 2015 Oct 9. [Epub ahead of print]	
17-22	「血縁者間骨髄・末梢血幹細胞移植におけるHVG方向HLA不適合が移植成績に及ぼす影響」 PI: 諫田淳也
学会発表: 済(WG研究業績一覧参照)	
諫田淳也 他 APBMT 2015(2015年10月30日~11月1日)、万国津梁館	
論文業績:	
17-24	「NK細胞KIRによるHLA認識がCMV再活性化による血液腫瘍の再発抑制に果たす役割」 PI: 有馬靖佳
学会発表: 論文業績:	

3. 会議開催記録(2015年1月-12月)

日時	場所	会議内容
2015/7/4	名古屋第一赤十字病院	TRUMP2のHLAデータ、HLA-WG研究進捗状況に関して

4. メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2015年12月末時点まで) (1141)回

5. WGの今後の活動方針・抱負など

近年、HLA不適合血縁者・非血縁者間移植の移植数が増加しており、HLA不適合の臨床的意義に関してますます注目が集まっている。HLA不適合の意義に関する移植成績を明らかとすることで、臨床家に役に立つ解析結果を提供することが本WGの使命だと考えている。他のWGや研究グループとも積極的に協力しながらより良いエビデンスを確立したい。